

# それぞれが輝くロータリー

～自らの行動でクラブの可能性を拓けよう

## ◎国際ロータリー第2590地区 ガバナー 金子 大

2018-19年度国際ロータリー第2590地区ガバナーを務めます横浜中ロータリークラブに所属します金子 大です。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

新年度のスタートにあたり所信の一端を述べさせていただきます。

本年1月14日、2018-19年度国際協議会に於いて、RI会長バリー・ラシン氏は、本年度テーマとして「インスピレーションになろう」という、いささか哲学的なメッセージを発表されました。インスピレーションという言葉を日本語でどう表現するのか戸惑いを隠せませんが、その際のテーマ発表講演の内容から推し量りますと、現在大きな変革が世界的規模で、地域社会で、そしてロータリークラブやロータリアン個人にも求められているのではないかと。我々はその実現のための先駆者になろうという意味合いが込められたメッセージかと考える次第です。

2016年の規定審議会で大幅な規約の改定がなされましたが、私どもの第2590地区におきましても、それを受けて高良、湯川両パストガバナーにより着実に改革が進められて来ております。今年度は3年目であり、真に正念場の年を迎えました。停まることなく更に着実に推し進めていくことが、私に与えられた使命だと心得ております。

現在我々が抱えている一番の難題は会員の減少に歯止めが掛かっていないことです。その結果全国的にはロータリークラブの数はあまり減っていませんが、規模的にはクラブの小型化が目立ってきております。この傾向は、そっくりこの地区にも当てはまります。

地区内57クラブ(2018年5月末時点)中会員数が30名未満のクラブが26あり、またその中で20名を切るクラブが7クラブあります。結果、クラブの運営や奉仕活動に支障を来したかねないクラブも見られ始めています。この深刻な事態を打開するため、会員の増強に向けてこの20年にわたっていろいろな対策を考え努力を重ねて来られました。そしてこれからも引き続き増強への努力を重要な命題としてとらえ、行動すべきことは自明の理であります。

とは言え変革が求められている今、発想の転換も必要と考えます。

第2590地区の各クラブは、それぞれ規模の違いは

ありますが、個性的なクラブが揃っています。そのクラブが自分達の特長を生かした独創的な奉仕活動を発案し、先ずは実行に移してみることだと思えます。

一つのことをメンバー全員で一致団結して取り組んで下さい。そこからロータリーの奉仕活動の楽しさが生まれます。ロータリアン同志の友情が芽生えます。そうして自らの行動でクラブの可能性を拓けてください。その結果それぞれのクラブに活性化をもたらしていくと思えます。

ロータリーの魅力を広く社会に示すことが出来れば、多くの人々が共鳴して参加してくれるのではないかと思っております。

また規模や体力差で影響がでないよう配慮し地区運営に取り組んでまいります。

その第一弾として、地区研修協議会におきましては、D2560刀根パストガバナーにご講演を頂き、湯川直前ガバナー始め関係各位のご理解ご協力により分科会12部門を8部門にまとめさせて頂き、運営進行も少し変更させて頂きました。

また地区のグループ編成も前年度8グループから7グループに変更されました。

そして今年度や将来にむけて皆様の貴重なご意見も反映させながら、少しずつですが、変革を進めていきたいと考えております。

国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」は、“課題に立ち向かう意欲をひきだし、みんなを鼓舞し、みんなの励みになろう”と解釈すべきところもあろうかと思えます。それはロータリアンのあるべき姿ではないでしょうか。ロータリーでは人の繋がりが活動の「源」であり、奇跡を起こす「元」であると考えております。みんなで連携して達成感が得られる訳ですから、是非皆様に体感していただける1年になるようお願いしております。そしてその中でロータリアン個人や各クラブ、それぞれが輝くロータリーとなれますよう、私自身も尽力して参りたいと考えておりますので、どうぞ皆様、今年度一年間、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

